



平成 24 年 4 月 27 日

各 位

会社名 株式会社 小森コーポレーション
代表者名 代表取締役会長兼社長 小森 善治
(コード番号 6349 東証第 1 部)
問合せ先 取締役管理本部長 近藤 真
(TEL 03 - 5608 - 7826)

イスラエル・ランダコーポレーションとの
世界規模での戦略的提携の合意に関するお知らせ

当社は、このたびイスラエルのランダコーポレーションとの世界規模での戦略的提携を行うことに合意しましたので、お知らせいたします。

本件に関する詳細につきましては、別紙プレスリリースをご参照ください。

以 上

ニュースリリース

平成 24 年 4 月 27 日

小森コーポレーション、ランダコーポレーションと
世界規模での戦略的提携に合意！

株式会社小森コーポレーション(東京都墨田区 代表取締役会長兼社長 小森善治)は、イスラエルのランダコーポレーションと世界規模での戦略的提携に合意し、ランダ・ナノグラフィを同社のデジタル印刷システムに採用することに決定致しましたので、別添の通り報告申し上げます。

お問い合わせ先

株式会社小森コーポレーション
新規事業推進室 吉川武志
電話 03 (5608) 7812

コモリとランダが、世界規模での戦略的提携に合意！

ーコモリは、ランダ・ナノグラフィをデジタル印刷システムに採用する。

商業印刷とパッケージ印刷市場に向けた小森コーポレーションの次世代デジタル印刷機に、ランダ・ナノグラフィ印刷技術を導入。

2012 年 4 月 27 日

小森コーポレーション（以下コモリ）とイスラエルのランダコーポレーション（以下ランダ）は、本日をもって世界規模での戦略的提携を行うことに合意致しました。その内容は、ランダがコモリに対し、商業印刷などに向けたナノグラフィ印刷プロセスを用いたデジタル印刷機の製造及び市場供給するためのライセンス供与を行なうことを目的とします。

ランダ・ナノグラフィは、水性インクを使った新しいデジタル印刷技術です。これは、デジタルの多様性と、オフセット印刷の品質と速度とを併せ持った技術であり、ページ当りのコストも低く抑えることを可能としました。

コモリの CEO である小森善治は、「永年にわたるオフセット印刷機械の専門メーカーとして、小森コーポレーションは商業、パッケージ、証券などの市場に対し、広範囲な印刷物を生産することが出来る印刷システムを供給してきました。私どもは、バリアブルデータ／パーソナライゼーション印刷、特にニッチな用途に関する需要拡大の必要性を感じております。それらに対して、既に発表しております通り、デジタルオンデマンドソリューションでの対応を進めております。しかしながら、ますます増加するユーザーの更なる小ロット及び短納期への対応要求が同様に存在致します。それらの商業印刷市場の要求に対応するため、我々は次世代枚葉及びオフ輪の水性インクを用いたデジタル印刷システムの強力なソリューションとして、ランダ・ナノグラフィ印刷の採用を決断致しました。またこの決断は、お客様からの未来に向けた様々なご要望にお応えしたいと言う、小森の新しいポリシーである“PRINT ENGINEERING SERVICE PROVIDER”にも合致するものです。」と語りました。

ランダの創業者で CEO のベニー・ランダは、「私どもは、我々の新しいナノグラフィ枚葉印刷機の紙搬送機構の供給者として、コモリと親密な関係を築いてきました。コモリは我々の技術を最初にお見せした企業であり、それはまた、我々のビジョンを最初に共有した企業でもあるわけです。それ故に、私は特に、コモリがこの巨大な市場でのビジネスの機会を共有する、世界規模の戦略的提携を行うことを最初に発表できる企業であることを喜んでおります。印刷業界とその広範な参入市場における重鎮として、コモリはランダ・ナノグラフィ印刷の世界的導入を加速させるための存在です。」と語りました。

戦略的提携への合意の後、ランダはプロセスの中核となるナノグラフィ印刷技術とランダ・ナノインクをコモリに提供します。数十ナノメートル径の顔料粒子で構成され、それらのナノ顔料は非常に強力に光を吸収し、かつて無い画像品質を可能にします。ランダ・ナノグラフィ印刷は、非常に均一ではっきりとしたドット、高い光沢、そして非常に広い CMYK の色再現領域が特徴です。

ランダ・ナノグラフィ印刷は、印刷用紙にデジタルインク画像を形成するためのインク・インジェクターを採用しており、そのプロセスにおいて、非常に高速に動作して画像を形成し、高い耐磨耗性や耐スクラッチ性を持っています。最も顕著なのは、コート紙、非コート紙からリサイクルされた厚紙までの幅広い用紙に対応可能で、また新聞印刷からプラスチックパッケージフィルム印刷まで、いかなる事前処理やコーティングも不要で、印刷後の乾燥も必要ありません。コストメリットとして追加する点は、ナノグラフィの画像が 500 ナノメートルの厚みしかないという事実です。これはオフセット画像のインキ膜厚の半分であり、ランダ・ナノインクは業界でのデジタル画像形成において、ページ単価を最も安くすることを可能としています。これら全ては水性インキであり、エネルギー効率が良く、環境に優しいプロセスなのです。

ベニー・ランダはこう締めくくりました。「コモリの次世代デジタル印刷機にナノグラフィの採用を決断されたことは、この革新的な技術の進歩と、印刷産業における新しい業界標準となる可能性を高めて行くことにおける、非常に重要なマイルストーンになり得ます。」

■ 小森コーポレーションについて

東京を拠点とする小森コーポレーションは、枚葉オフセット印刷機をはじめ、オフセット輪転印刷機、紙幣／セキュリティ印刷機のトップメーカーで、特に今日の非常に競争の激しい印刷市場に合った卓越した技術を提供しています。オープン・システム・アーキテクチャーを介し、素早いメクレディや JDF との接続により最高レベルの印刷品質を実現した KOMORI の印刷機は、印刷会社様の利益増加や企業成長のために不可欠なより高い生産性を提供します。

※小森コーポレーションに関する詳細については、<http://www.komori.com> をご参照下さい。

■ ランダコーポレーションについて

デジタルオフセットカラー印刷の父として知られるベニー・ランダは、1977 年に技術開発会社であるインディゴを設立し、そこで開発された液体インキを使ったデジタル印刷システム E-Print1000 を 1993 年に発表しました。ヒューレット・パカードにインディゴを売却した後、2002 年にランダコーポレーションを設立しました。

ランダコーポレーションは次の 4 つの事業から構成されています。

- ランダデジタル: 商業、パッケージ、出版市場向けのナノグラフィック印刷システムの開発
- ランダラボ: 代替エネルギー技術およびナノ材料の開発
- ランダベンチャー: 有望な技術系企業への投資
- ランダファンド: 奨学制度などの慈善事業

※ ランダコーポレーションに関する詳細については、www.landano.com または、Twitter <http://twitter.com/landano> および Facebook <http://www.facebook.com/landano> をご参照下さい。